

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	スピントロニクスを用いた人工知能ハードウェアパラダイムの創成
研究代表者	大野 英男
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、世界トップレベルのデジタルスピントロニクス技術に、スピンのアナログ特性を付加することにより、AIハードウェアの基盤技術を作るものとなっている。これまでの研究成果に基づいて、しっかりとした研究計画が立案されており、スピントロニクスにおいて世界トップレベルの研究成果が期待できる。また、CMOSも取り入れた現実的アプローチとなっており、半導体エレクトロニクスの限界を打破し得る技術としても期待できる。</p> <p>以上の理由により、特別推進研究として推進することが適切と考えられた。</p>